

第 4 9 1 回 役 員 会 議 事 要 録

- 1 . 日 時 平成 3 1 年 3 月 4 日 (月) 自 1 3 時 3 0 分 至 1 3 時 5 0 分
- 2 . 場 所 学 長 室
- 3 . 出 席 者 中 井 学 長、中 田 理 事 ・ 副 学 長、三 浦 理 事 ・ 副 学 長、伊 藤 理 事 ・ 副 学 長、
若 井 理 事 ・ 事 務 局 長
【 オ ブ ザ ー バ ー 出 席 】 塩 谷 副 学 長、塘 副 学 長、上 井 監 事、橋 本 監 事
- 4 . 欠 席 者 な し
- 5 . 審 議 事 項
 - (1) 飯 館 村 と 福 島 大 学 農 学 群 食 農 学 類 と の 連 携 協 力 に 関 す る 基 本 協 定 に つ い て 資 料 1
 - (2) 農 学 支 援 基 金 の 支 出 に つ い て 資 料 2
 - (3) 2 0 1 9 年 度 学 生 教 育 支 援 基 金 に よ る 支 援 事 業 の 採 択 に つ い て 資 料 3
 - (4) 平 成 3 2 年 度 入 試 に お け る 東 日 本 大 震 災 (原 発 事 故 含 む) お よ び 激 甚 災 害
に お い て 被 災 さ れ た 方 に 対 す る 検 定 料 の 免 除 に つ い て 資 料 4
 - (5) そ の 他
- 6 . 報 告 事 項 な し

【 確 認 事 項 】

第 4 9 0 回 役 員 会 議 事 要 録 を 原 案 の と お り 確 認 し た。

【 審 議 事 項 】

- (1) 飯 館 村 と 福 島 大 学 農 学 群 食 農 学 類 と の 連 携 協 力 に 関 す る 基 本 協 定 に つ い て
中 田 理 事 ・ 副 学 長 よ り 標 記 に つ い て 提 案 が あ り、資 料 1 に 基 づ き、第 4 9 0 回 役 員 会
(平 成 3 1 年 2 月 1 8 日 開 催) に お い て 承 認 さ れ、平 成 3 1 年 2 月 2 5 日 に 締 結 し た 飯
館 村 と 福 島 大 学 農 学 群 食 農 学 類 と の 連 携 協 力 に 関 す る 基 本 協 定 に つ い て、飯 館 村 か ら の
申 し 出 に よ り 第 4 条 第 1 項 に 規 定 す る 飯 館 村 か ら の 支 援 額 を 修 正 し た こ と に つ い て 説 明
が あ っ た。
審 議 の 結 果、原 案 の と お り 承 認 さ れ、今 後 の 手 続 き と し て 教 育 研 究 評 議 会 に 報 告 す る
こ と が 確 認 さ れ た。

(2) 農学支援基金の支出について

若井理事・事務局長より標記について提案があり、資料2に基づき、農学支援基金による事業の実施は役員会での審議が必要であること、食農学類準備室長より支出依頼のあった超高速食品機能成分質量イメージング装置のリース費用、研究員(附属農場での教育・研究の支援)継続雇用経費の概要について説明があり、これらの費用を同基金から支出することについて審議願うとの発言があった。

審議の結果、原案のとおり承認され、今後の手続きとして、運営会議に報告することが確認された。

(3) 2019年度学生教育支援基金による支援事業の採択について

若井理事・事務局長より標記について提案があり、採択事業として、経済経営学類による「多文化体験による国際人育成プログラムの創出～若者の消費行動を通して～」、国際交流センターによる「福島大学と海外協定校による双方向交流事業」、総合教育研究センターによる「リフレクションにもとづく初年次学生の『学びの転換』促進支援事業」、アクセシビリティ支援室による「『多様な学生が共に学ぶ大学』にむけた学生サポーターの養成」の4事業に決定すること及び各事業の概略等について説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(4) 平成32年度入試における東日本大震災(原発事故含む)および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について

塩谷副学長より標記について提案があり、資料4に基づき、今年度に引き続き、平成31年度に実施するすべての入試において、東日本大震災(原発事故含む)および激甚災害における被災者を対象として検定料を免除する措置を取ること、及び、検定料免除の措置を募集要項に掲載することについて説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認され、今後の手続きとして、経営協議会の議を経て、教育研究評議会に報告することが確認された。

(5) その他

なし。